

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日 令和 2 年 4 月 15 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and fiscal position. Includes details for '介護予防ボランティア育成事業' and '高齢者福祉の推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about volunteer training and support activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for indicators and trends. Includes rows for '手段' (activities like training), '対象' (target population like 65+ citizens), and '意図' (outcomes like training completion).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and trends. Columns include fiscal year (30年度, 01年度, 02年度), unit, and total input amount.

Table showing internal costs (事業費の内訳). Columns include fiscal year (01年度実績, 02年度事業費 予算), item number (11, 12), and amount.

事務事業名	介護予防ボランティア育成事業	事務事業No.	10601000996	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 一般高齢者施策として開始された。介護保険法の改正により、地域介護予防活動支援事業として実施することになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 介護予防に資するボランティアの育成・支援を行い、地域で積極的な介護予防活動を展開することは、高齢福祉の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法により市が行うのは妥当であり、シルバーリハビリ体操3級養成講習会は地域支援事業の一つとして市が行う事業である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 活動場所の拡大を図ることで普及効果が高まり、介護予防成果の向上につながる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 介護予防事業の衰退につながり、要介護者の増加につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がなく、統廃合・連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない シルバーリハビリ指導士養成についてはボランティア団体が講師となり講習会を開催しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である シルバーリハビリ体操指導士3級構成講習会、介護予防ボランティア育成講座は、広報にて募集しており公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	シルバーリハビリ体操1級指導士が講師となり、3級養成講習会を開催できている。今年度は13名養成することができた。昨年度養成した介護予防ボランティア4名が生きいきサロンにて活動を行ったが負担に感じたボランティアもいて、その後の活動につなげることができなかった。令和2年度は引き続きボランティアの活動支援を行い、新たな育成予定はない。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 シルバーリハビリ体操の1級指導士の負担が大きいため、1級指導士の養成を県に依頼し、活動する1級指導士の負担の軽減を図っていく。 介護予防ボランティアの活動意欲について確認し、ボランティア活動を支援していく。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ③																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>